

□ 要請番号 (JL46916B03)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モロッコ	G157 日本語教育		個別	交替 8代目	2年	・ 2017/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

高等教育・科学研究・幹部養成省

2) 配属機関名 (日本語)

モハメッド五世大学ーアグダル

3) 任地 (ラバト県ラバト市) JICA事務所の所在地 (ラバト)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

当大学は1957年に設立され、文学人間科学、自然科学、法経社会学の3学部と、技術、一般科学、教員養成の3大学院を擁し、スタッフ約900名、教員約1200名、学生数約34,000名の総合大学である。授業はフランス語とアラビア語で行われ、文学人間科学部には地理、史学、哲学、社会学、英語、独語等の学科が、学科外では日本語の他、中国語、韓国語、トルコ語及び葡語を各国の協力の下に行っている。http://www.um5a.ac.ma/。現在日本語教育SVが2名活動中で、2016年9月に渉外促進SVが派遣予定である。また、上記日本語教育SVのうち近日中に帰国する1名の後任をJVで要請中である。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

当大学では国際交流基金支援による日本語教育が1982年から2005年まで実施され、その後JICAボランティアに引き継がれている。文学人間科学部の学生および社会人を対象に、公開講座で教えている。当地に日本企業は少なく直接雇用にはつながりにくい、日本文化に興味を持つ受講希望者が非常に多く、継続して講座で教えるボランティアが必要とされている。現在はSV2名がモロッコ人教員3名の協力を受けながら、公開講座で120名の生徒に教えている(モロッコ人教員の今後の動向は不確定)。また、他任地の日本語教育関係者と協力し、大学の協力を得ながらこれまで16回、日本語スピーチコンテストを開催した。今般は同配属先の渉外促進SVが、日本企業にスポンサー協力を仰ぐなど新しい形で開催した。これまで、国際交流基金の要請を受け日本大使館の主導でJLPT(日本語能力試験)が3回実施され、ボランティアも実施支援にあたった。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

大学担当者と相談しながら以下の活動を行う。

1. 公開講座「日本語」を運営する。(コース設計、受講者の募集、クラス編成、会計、試験事務等を含む)
2. 公開講座「日本語」で授業を行う(週6コマ9時間程度)
3. 同任地と他任地のボランティアや大学と協力し、日本語関連のイベントを実施する(日本語スピーチコンテストなど)。日本大使館から依頼があればJLPT(日本語能力試験)の実施を支援する。
4. 日本関連のイベントを企画・運営することも考えられる。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

専用教室(最大25名収容:Souissi校構内)ビデオ、テレビ、ラジカセ、DVD、プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード
みんなのほんご

4) 配属先同僚及び活動対象者

文学人間科学部副学長(女性、50代)
日本語教育アシスタント教師2名(土曜日の初級クラス担当)(今後も継続するかは未定)
指導対象者:学生・社会人約120名 18歳～50歳)、中・高校生が混じることもある
レベル:日本語初心者～中級前半

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

フランス語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：(日本語教授法)

[学歴]：(大卒) 備考：大学での講義を行うため

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 5年以上 備考：運営を全て行うため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(地中海性気候) 気温：(5～45℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

同配属先にもう1名、日本語教育JVを要請中である。協力して活動を実施する。